

【現状と課題】

男女がお互いの身体的な性に関する特徴を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての基本となる重要なことです。

全ての人々が、健康を享受できるようにするために、心身及び心身の健康についての正しい知識と情報を入手できるようにすることに加え、女性においては、妊娠、出産、更年期疾患を経験する可能性があるなど、生涯を通じて男女が異なる健康上の問題に直面することについて、十分に配慮する必要があります。

一方で、予期せぬ妊娠や性感染症の発生等の課題がありますが、その背景には性に関する正しい知識、情報、男女がお互いの性を尊重する意識の不足のほか、女性による性についての主体的な判断と行動を阻む社会的性別（ジェンダー）があり、それが性的暴力の要因となっていることもあります。

そのため、「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）の概念を踏まえ、女性が身体的、精神的、社会的に良好な状態を保つことができるよう、生涯を通じた健康を支援するための総合的な取組を進める必要があります。

また、依然として存在する性別による固定的な役割分担意識から、男性は、「男性としてのあるべき姿」にとらわれ、悩みや問題を一人で抱え込むなど精神的に孤立しやすいということなどが考えられることから、男女共同参画の視点を踏まえ、心身の健康支援や意識啓発活動を進める必要があります。

① 生涯にわたる男女の健康の包括的支援	
施策の具体的内容	担当課
<p>男女が、生涯を通じて、その健康状態に応じて適切に自己管理を行うために、心身及びその健康についての正しい知識を普及し、相談体制、健(検)診体制を充実させるとともに、性差に配慮した医療や健康支援を推進します。特に女性は、その心身の状況が思春期、妊娠・出産期、更年期、老年期等人生の各段階に応じて大きく変化するという特性に着目しつつ、近年における女性の就業等の増加、晩婚化等婚姻をめぐる変化等に伴う女性の健康に関わる問題の変化に応じた、適切な健康の保持、増進を支援します。また、男性は女性に比べて肥満者の割合、喫煙者の割合、飲酒の習慣がある割合が高い等の状況を踏まえ、男性の生涯を通じた健康づくりを支援する取組を推進します。</p>	市民課 こども課 長寿介護課 農業委員会
<p>女性特有の疾患に対応した検診として、子宮がん検診、乳がん検診、骨粗しょう症検診が実施されており、特にがん検診の受診率の向上に取り組むとともに、早期発見、予防のための普及啓発や、女性が受診及び相談しやすい環境を確保します。</p>	市民課

② 妊娠・出産等に関する健康支援と性に関する正しい理解の促進	
施策の具体的内容	担当課
<p>「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(性と生殖に関する健康と権利)について、正しい理解の浸透のための啓発に取り組めます。</p> <p>また、安心、安全に妊娠、出産ができるように、母子健診、育児相談、家庭訪問等を実施します。併せて、不妊治療に係る経済的負担の軽減や不妊、不育の専門の相談体制の充実を図ります。</p>	企画政策課 市民課 こども課
<p>性感染症の罹患率、人工妊娠中絶の実施率等の動向を踏まえつつ、個人が将来のライフデザインを描き、妊娠、出産等についての希望を実現することができるよう、性に関して正しい知識を身に付け、適切な行動を取ることができるようにするため、学校における教育の充実を図ります。</p>	市民課 学校教育課

③ スポーツを通じた生涯にわたる健康づくりの推進	
施策の具体的内容	担当課
男女の健康状況や運動習慣が異なることなどを踏まえ、誰もが、健康で生きがいに満ちた生活を送ることができるよう生涯スポーツの推進を図るため、気軽にスポーツを行うことができる環境整備を行います。	スポーツ推進課